

(3) 漁場整備に関する平成28年度事業実績及び平成29年度事業計画について

【水産基盤整備事業】

①平成27年度事業実施内容

事業名	地区名	事業主体	事業内容	備考
水産環境整備	外房地区 四天木工区	県	コンクリート魚礁(FP3.25B-400型) 製作 45個、沈設 51個 鋼製魚礁(E450LT型)製作・沈設 1基	ヒラメ、 タイ類、 アジ、 ブリ類など 対象
			計 約 2,246 空 ³ (沈設量)	
			合計 約 2,246 空 ³ (沈設量)	

②平成28年度事業内容 (予定)

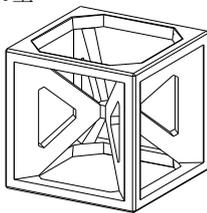
事業名	地区名	事業主体	事業内容	備考
水産環境整備	外房地区 四天木工区	県	コンクリート魚礁(FP3.25B-400型) 製作・沈設 32個 鋼製魚礁(E450LT型)製作・沈設 2基	ヒラメ、 タイ類、 アジ、 ブリ類など 対象
	内房地区 富山工区	県	現地調査 深淺測量、流況調査	
			合計 約 2,091 空 ³ (沈設量)	

③平成29年度事業内容 (予定)

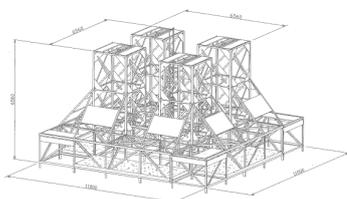
事業名	地区名	事業主体	事業内容	備考
水産環境整備	外房地区 四天木工区	県	効果調査 (ROV調査、標本船調査、アンケート調査など)	ヒラメ、タイ 類、アジ、ブリ 類など対象
	内房地区 富山工区	県	詳細設計 コンクリート魚礁 製作・沈設 約 2,743 空 ³	
			合計 約 2,743 空 ³ (予定沈設量)	

使用魚礁姿図

- ① FP3.25型
FP3.25B-400型



- ② E450LT型

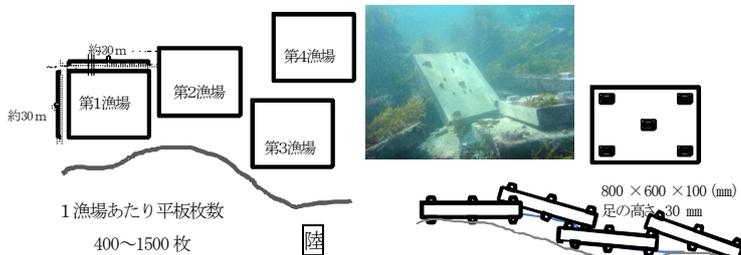


アワビ輪採漁場の整備支援について

1 事業の概要

輪採漁場は、放流種苗を有効に漁獲に結びつけ、漁業経営の安定につなげるために、コンクリート平板で複数の漁場を造成し、毎年1か所ずつアワビ種苗を放流、育成後順番に漁獲するものであり、このことにより毎年一定のアワビの生産・収入確保が可能となる。

平成27年度からは、造成する漁場の数を、これまでの3か所から4か所にするここと、アワビの生育期間を1年間長くして、単価の高い大型アワビを漁獲することによる漁獲量・漁獲金額の増加を図るとともに、アワビの産卵機会を増やすことによる周辺漁場のアワビ資源の増大を図ることを目指している。



	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	7年次	8年次
第1漁場	造成・放流				取上・放流			
第2漁場		造成・放流				取上・放流		
第3漁場			造成・放流				取上・放流	
第4漁場				造成・放流				取上・放流

2 実施状況



御宿町地区（御宿、岩和田、マダカ漁場）

事業主体	年度	設置場所	規模
御宿町	H27	御宿地区	平板礁(80×60×10cm)400枚×4か所=1,600枚設置
		岩和田地区	平板礁(80×60×10cm)400枚×4か所=1,600枚設置
		マダカ漁場	平板礁(80×60×10cm)400枚×1か所=400枚設置

南房総市白浜地区

事業主体	年度	設置場所	規模
東安房漁協	H27	白浜地区(島崎)	平板礁(80×60×10cm)1,500枚×4か所=6,000枚設置
	H28	白浜地区(原)	平板礁(80×60×10cm)1,500枚×1か所=1,500枚設置 *既存3年輪採漁場に1漁場を追加
		白浜地区(名倉)	平板礁(80×60×10cm)1,500枚×1か所=1,500枚設置 *既存3年輪採漁場に1漁場を追加

3 今後の計画

平成29年度 南房総市白浜地区にて造成(2か所)を予定している。